

GRIFFY とソラコムが連携 「生成 AI 現場監視システム」をレンタル提供開始 CSPI2026 にて初公開

カメラと最新生成 AI を融合し、自然言語で現場監視を自動化
 プロンプトひとつであらゆる異変を検知

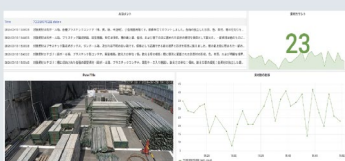
建設現場の DX を推進する株式会社 GRIFFY(本社:東京都千代田区、代表取締役:入澤 拓也)と株式会社ソラコム(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO:玉川 憲)は協業し、2026 年 7 月 1 日より建設業界向けの新ソリューション「生成 AI 現場監視システム」のレンタル提供を開始することをお知らせいたします。

本システムは、ソラコムが提供するクラウド型カメラサービス「ソラカメ」と生成 AI を用いた IoT オートメーションサービス「SORACOM Flux」を活用し、SPS 認定済テクノロジーパートナーである GRIFFY が建設現場向けに最適化した自社ソリューションです。クラウド型カメラに加えて最新の生成 AI(LLM)と連携することで、「ヘルメットを着用しているか」「資材が減っていないか」といった従来は人の目に頼っていた監視・判定業務を自然言語の指示(プロンプト)だけで自動化する、建設業界向けレンタル型ソリューションです。

なお、6 月 17 日より幕張メッセで開催される「第 8 回 国際建設・測量展(CSPI2026)」の GRIFFY ブースにて、本システムのデモンストレーションを実施いたします。

<利用シーン例>

資材監視



管理資材の在庫数をAIが自動判定し、搬出入の推移を記録。確認工数を削減します。

装備品チェック



ヘルメットや安全帯の着用状況をAIが自動判定。安全管理の効率化に寄与します。

駐車状況監視



工事現場の駐車スペースの満空状況をAIが自動判定。管理の省人化を支援します。

車長計測(トンネル内入坑確認)



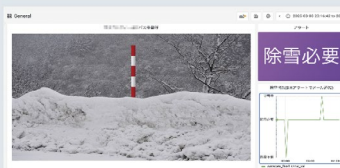
入坑車両の長さ・高さをAIが自動判定。路面投影で、周囲への接触リスクを防止します。

アナログメーター監視



指針の数値や異常をAIが自動判定。巡回工数を削減します。

積雪監視



カメラ画像や赤白ボールから積雪状況をAIが自動判定。除雪の判断を迅速に行います。

提供開始の背景

建設業界では深刻な人手不足により、安全管理やインフラ監視の省人化が急務となっています。しかし、従来の AI カメラは、用途ごとに学習データの準備や個別チューニングが必要で、高額な学習コストや実装までの期間を要するほか、現場ごとの細かなニーズへの対応が困難でした。

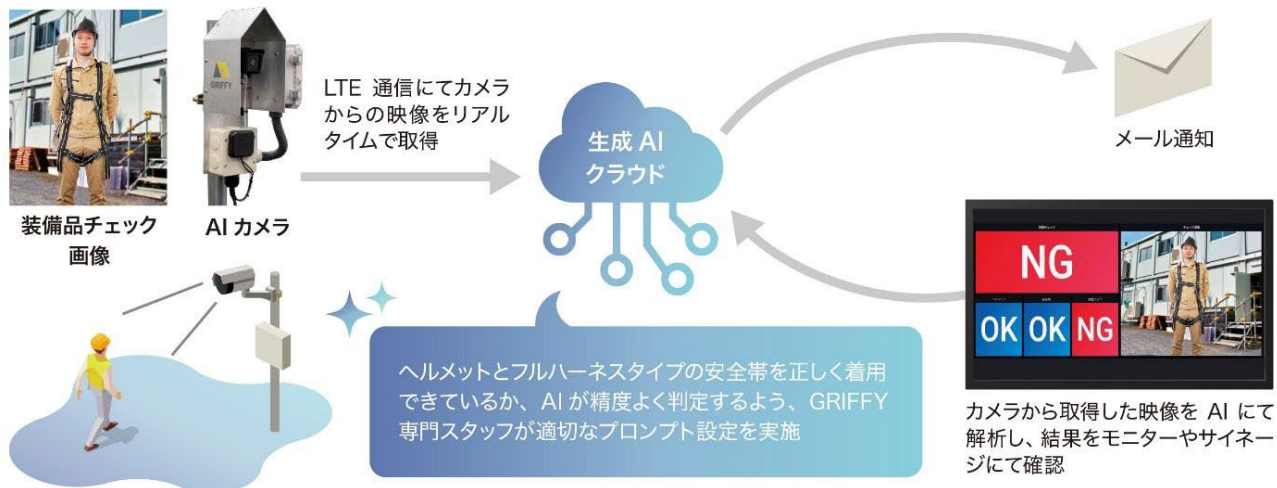
GRIFFY はこの課題に対し、ソラコムの高高度なクラウドサービスと、GRIFFY が現場で培った「実装力」を融合。これまで下記の利用シーンに対して実証実験を進めてきました。

- ・安全管理：装備品（ヘルメット・フルハーネスなど）の未着用検知
- ・資材管理：在庫量の概算数量判定・推移記録
- ・車両管理：駐車スペースの満空判定、トンネル入坑車両の長さ計測
- ・インフラ点検：アナログメーターの読み取り、積雪・降灰の監視

このたび、実証実験での成果や知見を踏まえて、商用サービスとしての提供が可能と判断できたことから、レンタル提供を開始することといたしました。建設現場の規模や要望に応じた柔軟なプランをご提案します。

本システムの主な特長

1. **プロンプト調整のみで学習コストを要さず多用途に対応** 生成 AI を用い、自然言語で「ヘルメットを着用しているか？」「メーターの針は適正範囲か？」といった指示を出すだけで解析が可能。現場環境やニーズに応じて検知条件を柔軟に変更できます。パトランプなどの外部機器連動やメール通知との組み合わせも可能です。
2. **ソラカメの高い信頼性** 屋外利用であっても LTE 通信環境と電源があれば、すぐに利用開始が可能。フル HD・広角 120 度の高性能レンズに加え、IP65 相当の防水・防塵性能、-20℃～55℃の動作温度範囲を備え、屋外現場でも安定して動作します。
3. **技術者伴走型による「使える AI」の提供** AI の精度を左右するプロンプト設定や、解析に最適なカメラ位置の選定など、GRIFFY の専門スタッフが運用を徹底支援。非エンジニアでも使いこなせる現場主導の DX を実現します。



「第 8 回 国際建設・測量展(CSPI2026)」GRIFY ブース 出展概要

会場では、「ヘルメット未着用検知」「資材量の確認」「アナログメーター読み取り」など、生成 AI を活用した、実機による装備品チェックや資材管理のデモンストレーションを展示します。

- ・会期：2026 年 6 月 17 日(水)～20 日(土)
- ・会場：幕張メッセ 1～8 ホール・屋外展示場・屋外展示場 ANNEX
- ・ブース番号：07-60

GRIFFYについて



GRIFFYは「建設産業の未来図を、デジタルテクノロジーで描き出す。」をミッションとして掲げ、建設ドメインに特化したDXプロダクト・ソリューションの共創事業に加え、多数の建設DXソリューションを「現場ロイド」ブランドとしてラインナップしたレンタルサービス事業を運営しています。

「現場ロイド」は累計20,000件(2025年12月末現在)を超える導入実績を有しており、現場への実装で積み重ねたノウハウとデジタルネイティブな発想の組み合わせによって、生産性向上、省人化、安全対策といった建設産業全体の共通課題と向き合うことを通じて、建設産業に携わるすべての人が幸せに働ける環境づくりに貢献してまいります。

所在地：〒101-0047 東京都千代田区内神田2丁目12番6号 内神田OSビル7階

代表：代表取締役 入澤 拓也

設立：2023年12月

資本金：6,000万円

事業内容：建設現場向けのDXソリューション提供事業

URL：<https://griffy.co.jp/>

ソラコムについて

AI/IoTプラットフォームSORACOMは、世界200以上の国と地域でつながるIoT通信を軸に、IoTを活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業DXから、イノベティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客様にご活用いただいています。

コーポレートサイト <https://soracom.com>

IoTプラットフォーム「SORACOM」<https://soracom.jp/>

ソラコムクラウドカメラサービス「ソラカメ」 <https://sora-cam.com/>

ソラコムのIRサイトでは、決算情報・IR資料・株主・投資家向け情報を掲載しています。

IRサイト <https://soracom.com/ja/ir>

シェアードリサーチレポート：<https://sharedresearch.jp/ja/companies/147A>

ソラコムIR公式note：https://note.com/soracom_ir

IRニュースレター登録：<https://soracom.com/ja/ir/newsletter>

<本ニュースに関するお問い合わせ>

株式会社ソラコム 広報 田渕

pr@soracom.jp